

SA 吹田通信 第 64 号

発行 SA 吹田事務局 〒564-0004 吹田市原町 3 丁目 7 番 2 号 TEL/FAX06-6388-3380
 ホームページ <http://outdoor.geocities.jp/suitabear/sasuita.htm>

国際交流部会：小学三年生と留学生の交流授業報告

16 期 奥谷英夫

本年度第 1 回目の交流授業は、9 月 12 日



(金)に吹田第三小学校(高城町・JR 吹田駅より 5 分)で 4 名の阪大生(全員が大学院で研究中の国費留学生)と SA 吹田・国際交流部会の会員 6 名が協力

して行いました。

今回の「世界の留学生とお話しよう」の集いは、次のような手順で進行しました。まず、給食準備中の 3 クラスを留学生が順次移動し、クイズ形式で自己紹介を行い、その後、留学生と SA 吹田のスタッフが 3 クラスに分散し児童と給食を一緒に食べました。交流授業は、留学生がパソコンとプロジェクターを用いて母国の食べ物、気候、

名所、祭り等の紹介を行い、続いて外国のあいさつ、数字、動物の鳴き声を指導したあと、お互いの文化交換を行いました。

グラハムさん(アメリカ)は野球の歌、数え歌を、ティアゴさん(ブラジル)はサンバ専用のタンバリンでリズム打ちを、シーケイさん(マレーシア)は母国のわらべ歌うを指導し、オリガさん(ロシア)は子ども達が膝の上に乗るなど大変な人気者でした。児童は各クラスごとに今日のために練習した日本の遊び、合唱、詩の朗読などを披露し、最後に留学生が各クラスを巡回し握手やサインでお別れをして終了しました。スタッフの一人一井さんの問いかけに「楽しかった。また交流授業がしたい」との声が 3 クラスから聞かれ、今年第 1 回目の交流支援活動は所期の目的を達成することが出来ました。

第 26 回吹田 「よっといで祭」に参加して

20 期 七尾正人

SA 吹田のおもちゃ作り広場、テントはメインの場所から少し離れた所、10 時の開会にそなえて先輩会員の方々が忙しく準備されている中に 20 期生 5 名がお手伝いに参加させていただきました。要領をお聞きしている間に 2、3 の子供達がもう集まってきました。食事も順番に摂る忙しい 1 日がスタートしました。子どもたちの真剣な目、明るい笑顔、親たちの子供をみる眼差し、会員と子供たち、付添の親子との会話、それは小さくてもほのぼのとしたコミュニティになっていました。この日の材料作りに苦

労されてきた会員の皆さんの純粋な熱意がテントの周辺で見事に昇華していく一時でした。



お手伝いが足手まといになったのかは不安ですが、ボランティアという言葉の根底にある「純粋さ」をあらためて感じた 1 日になりました。当日、お世話になり、色々ご教授いただきました先輩諸氏に心から感謝申し上げます、体験談とさせていただきます。

SA 吹田・心ふれあいネット歌体操講座を継続

SA 歌体操部会



8 月 26 日で 3 回講座シリーズが好評のうち終了、ひと月の間において継続していく事に決まりました。だが、会場の手配が肝心、身体が動かしやすいある程度の広さが必要ですし、参加しやすい足の便のいい場所を・・・ということでメシアターの部屋を探し、予約することができました。10 月 28 日(火)、11 月 11 日(火)の午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分、1 階第一練習室です。12 月 2 日(火)はリハーサル室において午後 1 時 30 分～午

後 3 時 30 分に開催します。

尚、参加費は前回と同様、毎回一人 300 円を予定しています。



どうぞ、皆様お誘いあわせの上、ご参加いただきますようお願いしています。

また、平成 21 年 3 月 8 日(日) 千里市民センター(阪急南千里駅すぐ)に於いて市内、近隣の歌体操グループを招いて歌体操交流会を開催することに決定、実行委員会を立ち上げ準備中です。詳細は後日おしらせします。

投稿

「わたしのボランティア」

人間にとって最も残酷なことは、「お前ももういない」と云われることです。私も職を退いて、「この身でなにかお役に立てることはないだろうか」の原点が SA でした。

なかでも、「人は必要とされることを必要とする」「いと小さきこと一人の為に」は、重みのある言葉でした。幸い多くの人達とのつながりを得て、今ではいろいろなボランティアをさせて頂く喜びを感じているところです。

SA17 期生と老健「つくも」で、また「吹田市民病院」での車椅子の介助。「介護情報研修センター」「旧庄屋西尾邸」での説明ボランティア。そして「フェスト会」では、大阪中之島公園の清掃、また大阪府福祉基

17 期 小河 隆

金の募金活動は、千里中央、阪神前、高島屋前、泉ヶ丘などでお世話になっています。ところで、先日ある友人が「今日的には清掃や募金の類は、もう古いのと違うか」との意見をくれました。確かにボランティアも社会経済事情の推移と共に変化しています。有償の問題・行政への提言・改革……。しかし、このような流れの中にあっても、清掃とか募金は、人に奉仕する社会活動の原点と云えるものではなかったのかと思っています。

28 年間活動を続けてきたこの灯を、決して消すことのないよう続けて行きたいと、もっぱら念じているこの頃です。

SA 会員も活躍の展示会の記事が土木学会誌に掲載されました

(千里ニュータウン展・日本万博回顧展)

19 期 村上 正

千里ニュータウン展は平成 18 年 4 月 22 日から 6 月 4 日まで、日本万博回顧展は平成 19 年 10 月 20 日から 12 月 2 日まで、吹田市立博物館で開催されました。これらの展示会は市民の手によって企画・運営されたもので、実行委員会の市民委員には SA 吹田の会員も多数選ばれ、活躍されました。

このように市民の手になる展示会は全国的にもめずらしく、新しい吹田方式と言われるほどになりました。

その記事が土木学会誌に REPORT として掲載されたことは、これまた非常に名誉なことであります。土木学会は設立当初は日本工学学会といい、日本最古の学会であ

り、現在も 3 万有余人の学会員を有する日本最大の学会の一つであります。英名を JSCE (JAPAN SOCIETY of CIVIL ENGINEERING) と称し、世界的に有名な学会であります。そこに掲載された文章は世界に発信された情報となります。

論文の表題は「千里ニュータウン、日本万国博覧会、そして世界都市吹田へ」市民の手による回顧展が大成功を収めるであり、吹田が世界都市へ第一歩を踏み出したことを示すものであります。

広報部付記：本文中の「土木学会誌への REPORT」は本投稿筆者、村上様によるものです。私共の活動の一端を全世界的にご紹介頂きましたこと村上様に感謝いたします。

SA 吹田 2008 年 9 月度役員会議事録抜粋

1. 「お迎え市長室」について小川会長報告：生涯学習吹田市民大学開設について、前号 SA 吹田通信参照。2. 部会報告 歌体操部会；歌体操交流会を来年 3 月 8 日、南千里市民センターで開催予定。市長他、歌体操関係者を招待。おもちゃ部会；幼稚園フェスティバル実施報告。千里高校「高齢者交流会」は今後 SA 全体のイベントとする。国際交流部会；大阪府福祉基金地域福祉

振興助成金 14 万/年入金。佐竹台小学校交流授業は 11/18 予定。他の数校は調整中。

ブロック部会；各ブロック内集会について。広報部会。3. SA 吹田パンフレット作成。4. SA 連協報告・現役生説明会、HP について。5. 各小学校からアイマスク・車椅子の指導依頼。10 月は下記活動予定参照。11 月 20 日（予定）南山田小学校。

9 月度 SA 連協理事会抜粋

1. 来年度以降のアクティブシニア・SA 養成講座事業；理事を 7 グループより入選。SA 連協からの理事は正副理事長 2 名の承認。2. アクティブシニアフェア(大阪府主催、11 月 8 日(土)府庁内で開催)；SA 連協が

参加。3. その他 SA 現役生に SA 連協の活動紹介。本年度会費、1007 名納入。認知症予防指導者養成講座希望者；申込受付中。

平成 20 年度 SA 認定式 実施される

広報部

9 月 17 日(水)大阪府庁新別館北館において SA 認定式が行われ、新しい認定証の授与式がありました。今回の認定者は 646 名で、その内訳は、新規認定者 217 名、更新認定者は 429 名(17 年度認定者)で、出席された皆さんは、日頃のボランティア活動を語りあいながら、旧交をあたためる風景

が見られました。

来賓では SA 大阪連協の佐藤理事長が、来年度からは NPO 法人「大阪府高齢者大学校」として民の力で継続すべく現在奔走中で、年末までには正式に認められる見通しと挨拶されました。最後のメは、SA 代表による力強い「誓いのことば」で終了しました。

「花とみどりのフェア」おもちゃ作り(10 月 26 日(日))参加者募集!!

吹田市緑地公園課主催、吹田市造園協同組合共催の恒例「花とみどりのフェア」が開催されます。



10 月 26 日(日)江坂公園においておもちゃ市民塾を軸に、SA も「おもちゃコーナー」を盛り上げたいと思います。参加ご希望の方は 9:30 にお集まり下さい。

小学校でのアイマスク等授業への参加者募集!!

皆様のご支援で小学生に有意義かつ貴重な体験をして貰いましょう。
皆様の積極的な参加をお願いします。

各期の代表者へご連絡をお願いします。

(20期:武井様、19期:田原様、18期:村松様、17期:久賀様、
16期:八木様、15期以前:小北様、丹羽様)

授業の具体的内容:

10月24日(金) 山手小学校 13:00~ アイマスク体験 10名



SA 吹田活動予定 (10月) (参加希望者は担当者へ連絡を)					
10月	曜	行 事	時 間	場 所	担 当 者
3日	金	アイマスク・ 車椅子体験	13:00~	西山田小学校	各期別代表者
10日	金	府立千里高校 高齢者交流会	12:50~14:30	府立千里高校	松川裕 梨木恵美子
15日	水		10:20~12:00		
16日	木		12:50~14:30		
20日	月				
11日	土	SA 吹田おもちゃ づくり市民塾	10:00~12:00	北千里公民館	小北月子
24日	金	アイマスク体験	13:00~	山手小学校	各期別代表者
26日	日	花とみどりフェア	10:00~15:00	江坂公園	小北月子
28日	火	歌体操講座	13:30~15:30	メイシアター	藤川安高
役員会・部会					
10日	金	役員会	10:00~12:00	総合福祉会館	
17日	金	広報部会	13:30~15:00	SA ハウス	
20日	月	歌体操部会	10:00~12:00	総合福祉会館	
23日	木	第3ブロック会員の集い	13:30~	亥の子谷コミセン	
24日	金	第2ブロック会員の集い	13:30~	竹見台多目的施設	
29日	水	おもちゃ部会	13:30~	SA ハウス	
30日	木	ブロック長部会	10:00~12:00	総合福祉会館	
高齢者ケア関係					
11日	土	たんぽぽ歌体操	14:00~15:00	たんぽぽ	
17日	金	弘済院歌体操	14:00~15:00	弘済院第2特養	

「編集後記」

SA 吹田の別紙パンフレットを作成し、本誌に綴じ込んで皆様に配布いたします。皆様の活動上、ご入り用のときは公報までお申し出下さい。(広報 松川、新崎)

